

令和3年度 都島区運営方針(案)

区の目標(何をめざすのか)

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現



区の使命(どのような役割を担うのか)

- ・区民の安全・安心を守る防災・防犯などを礎に、活力ある地域社会の実現
- ・地域の見守りなど、誰もが安心して暮らすための健康・福祉の充実
- ・水と緑の豊かな都島区の魅力を発信し、わがまち意識の醸成



令和3年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- ・「幸せになれるまち、都島区」の実現をめざします。
- ・「教育力向上区宣言」を通して、教育力の高いまちの実現をめざします。

重点的に取り組む主な経営課題(様式2)

経営課題1 安全・安心のまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(3年度予算額)
災害時の備えなど意識と行動が伴うよう区民の防災・減災意識を高めていく必要がある。	(防災のまちづくり) 出前講座等の啓発や広報誌、SNS等の様々な媒体を活用した情報発信を行うなど区民の防災意識の向上に取り組む。	(自助の取組みの推進) 日頃からの災害への備えや、迅速な避難行動につなげていくため、高齢者や子育て層など支援が必要な世帯に向けた啓発活動や、広報誌、SNS等を活用した情報発信に取り組む。 (1,585千円)

経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(3年度予算額)
子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、子育ての負担感・不安感を軽減するため、地域の子育て情報を周知するとともに、虐待相談を含む相談窓口を拡充する必要がある。	(安心して子育てできるまちづくり) 子育てに不安を持つ保護者等が気軽に相談できるよう、対面での相談に加え、SNS等を活用した子育て支援を推進する。	(子育て相談体制の充実) 子育ての不安感や負担感を軽減するため、様々な機会をとらえて相談できる窓口等を周知し、臨床心理士等の有資格者が専門性を活かし、相談に応じる。 (6,751千円)

経営課題3 明日に誇れるまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(3年度予算額)
学校や家庭だけでなく、地域で子どもを支える場づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう、環境を整備する必要がある。また、経済的な理由等で学習面での機会が少ない子どもに対する直接的な支援が必要である。	(未来の都島を担う人材育成) 学校内外で、子どもを支える環境の充実に向けて取り組む。	(子どもを支える環境の充実) 経済面や家庭環境に課題を抱える小学生をサポートするため、学習支援・悩み相談を行う居場所を区内9地域に開設する。 (7,324千円)

経営課題4 区役所力の強化

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(3年度予算額)
行政や地域活動の情報を、読み手視点でわかりやすく、かつ対象に応じた提供が必要である。	(区民の声が区政に反映される仕組みづくり) すべての区民に行政サービスや地域活動の様子をわかりやすく提供するとともに、読み手視点に立った情報をタイムリーに発信する。	(広報の強化) 広報誌を全戸配付し、区民にわかりやすい情報を提供する。また、ホームページやSNS等を活用して、行政情報をはじめ、地域活動の様子をタイムリーに発信する。 (22,183千円)

市政改革プラン3.0に基づく取組等(様式3)

主な取組項目	取組内容
-	-
-	-
-	-
-	-

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

Blank area for reporting 1-year implementation results and future initiatives.

解決すべき課題と今後の改善方向

Blank area for identifying issues to be resolved and future improvement directions.



経営課題 1 安全・安心のまちづくり



防災のまちづくり

防犯のまちづくり

安全で美しいまちづくり

めざすべき将来像
最終的なめざす状態＜概ね10～20年間を念頭に設定＞
全区民が災害への備えをし、避難行動のできる状態

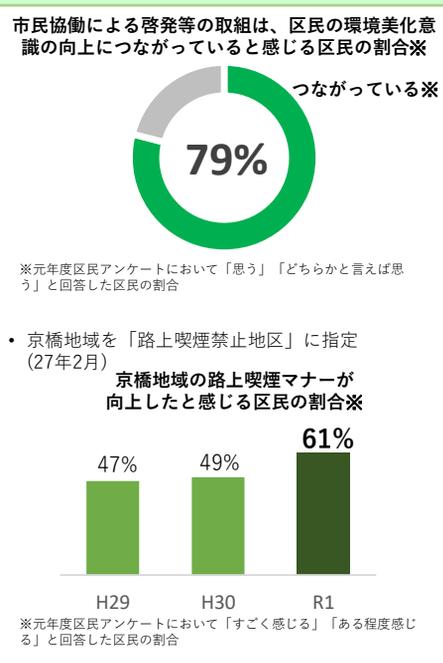
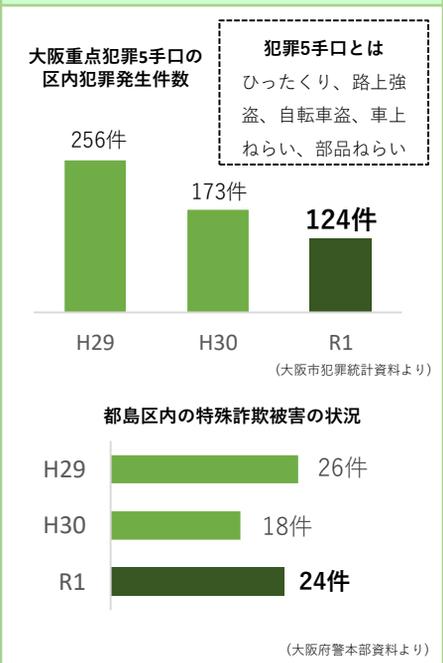
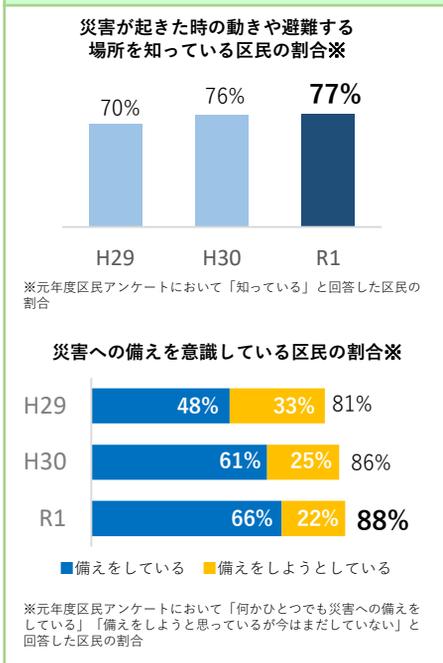
めざすべき将来像
最終的なめざす状態＜概ね10～20年間を念頭に設定＞
全区民が防犯を意識し、街頭における犯罪を抑止する環境が整っている状態

めざすべき将来像
最終的なめざす状態＜概ね10～20年間を念頭に設定＞
ごみのポイ捨てや放置自転車が減少し、喫煙マナーが守られるなど環境に優しく、誰もが安全に通行ができる状態

現状＜課題設定の根拠となる現状・データ＞

現状＜課題設定の根拠となる現状・データ＞

現状＜課題設定の根拠となる現状・データ＞



要因分析
＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果＞

要因分析
＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果＞

要因分析
＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果＞

- ・災害時には、一人ひとりの意識と、日頃からの備え及び避難行動が重要であり、約7割の区民は災害への備え（自助）ができている。しかし、約2割の区民は意識をもっているが、備えまでは至っていない。また、避難所開設・運営にあたっては、ソーシャルディスタンスを踏まえた対策が必要。

- ・警察や地域と連携した啓発等に取り組むことで、大阪重点犯罪5手口は減少しているものの、高齢者等を狙った特殊詐欺の被害件数は増加している。

- ・受動喫煙やポイ捨てごみのほか、放置自転車等により、区民・来街者の不快感などを抱かせている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・災害時の備えなど意識と行動が伴うよう区民の防災・減災意識を高めていく必要がある。

- ・警察や地域と連携し、区民の防犯意識の向上に取り組むとともに、犯罪を起こしにくい環境整備にも取り組む必要がある。

- ・市民協働型の啓発による区民等の環境美化意識の向上に取り組むとともに、歩行者が安全に通行できる環境づくりにも取り組む必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

（この欄は評価結果の総括内容が記載される予定です）



1-1 防災のまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞				戦略の進捗状況		戦略のアウトカムに対する有効性	課題		
区民が自助・共助の役割を認識し、日頃から災害への備えができてきている状態	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座等の啓発や、広報誌、SNS等の様々な媒体を活用した情報発信を行うなど区民の防災意識の向上に取り組む。 地域の防災訓練の支援や、人材を含めた地域資源を活用し、地域の防災力の向上に取り組む。 									
	アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞				前年度	今年度			個別評価	全体評価
	区民アンケートにおいて、災害への備え（自助）ができていないと回答した区民の割合 5年度までに75%以上									
	区民アンケートにおいて、災害が起きた時に避難する場所を知っていると回答した区民の割合 5年度までに85%以上									
区民アンケートにおいて、地域住民同士による助け合い（共助）の重要性について認識していると回答した区民の割合 5年度までに60%以上								今後の対応方向		

具体的取組1-1-1 自助の取組みの推進

元決算額	311千円	2予算額	1,976千円	3予算額	1,585千円
取り組むこと					
日頃からの災害への備えや、迅速な避難行動につなげていくため、高齢者や子育て層など支援が必要な世帯に向けた啓発活動や、広報誌、SNS等を活用した情報発信に取り組む。					
計画 (取組内容)	中間振り返り	年度末 (取組実績)			
① 高齢者・子育て層、マンション自治会等に向けた出前講座 6回 ② 防災啓発イベントの実施 1回 ③ 土曜授業等活用した小中高生への啓発 1回 ④ 広報誌、ホームページ、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信 9回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
防災・減災意識が高まったと感じる出前講座受講者の割合 70%以上 【撤退・再構築基準】50%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
2年度実績（12月末現在） ・ 広報みやこじまを活用した防災マップ等の周知 3回 ・ 出前講座での啓発 2回 ・ 災害への備え（自助）や地域での助け合い（共助）などSNSを活用した啓発 11回					

具体的取組1-1-2 共助の取組みの推進

元決算額	552千円	2予算額	1,377千円	3予算額	1,912千円
取り組むこと					
地域防災力の向上を図るため、地域が実施する防災訓練の支援や防災リーダーの育成に取り組む。					
計画 (取組内容)	中間振り返り	年度末 (取組実績)			
① 地域、行政、関係機関と連携した防災訓練 1回 ② 地域防災リーダー研修 1回 ③ 地域やマンション自治会の自主防災組織への支援 9回 ④ 大規模災害時協力事業所、津波避難ビル等の連携にかかる区内企業・事業者への協力要請 2事業所 ⑤ 広報誌、ホームページ、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信 9回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
共助の大切さが理解できたと感じる地域主体の防災訓練参加者の割合 70%以上 【撤退・再構築基準】50%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
2年度実績（12月末現在） ・ 地域防災リーダー研修 3回 ・ 地域主体の防災訓練や出前講座への支援 10回 ・ マンション等防災組織への支援 1回 ・ 大規模災害時協力事業所登録 2事業所					



1-2 防犯のまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞	戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題	
街頭における犯罪を防止し、犯罪に巻き込まれない安全で安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> 区民の防犯・交通安全意識の向上を図るため、防犯カメラの設置や青色防犯パトロール車による巡回に加え、警察と連携した市民協働による啓発活動を推進するとともに、地域安全センターの活用や広報誌、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信に取り組む。 				
	アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞	前年度	今年度	個別評価	全体評価
	区民アンケートにおいて、区民の防犯意識の向上が街頭における犯罪の発生抑止につながっていると感じると回答した区民の割合 5年度までに70%以上				
					今後の対応方向

具体的取組1-2-1 警察等と連携した防犯活動

元決算額	3,141千円	2予算額	4,240千円	3予算額	3,199千円
取り組むこと					
青色防犯パトロール車による巡回や警察と連携した防犯啓発等に取り組むとともに、様々な広報媒体を活用した防犯情報の発信や街頭犯罪を抑止する環境整備に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①警察等と連携した防犯キャンペーンや出前講座等による防犯啓発 6回 ②高齢者に向けた特殊詐欺防止啓発 1回 ③地域安全防犯カメラ設置 5台 及び設置補助1台 ④広報誌、ホームページ、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信 6回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
区民アンケートにおいて、警察と連携した防犯啓発や青色防犯パトロールの巡回、防犯カメラの設置による取組みが、防犯意識の向上につながっていると感じると回答した区民の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
2年度実績（12月末現在）					
<ul style="list-style-type: none"> 特殊詐欺防止などSNSを活用した啓発 16回 犯罪発生情報などSNSを活用した情報発信 9回 地域安全センターを活用した防犯情報発信 22回 					

具体的取組1-2-2 交通マナーアップの啓発

元決算額	34千円	2予算額	20千円	3予算額	20千円
取り組むこと					
警察と連携し、交通事故の防止や自転車マナーアップの啓発等に取り組むとともに、様々な広報媒体を活用した交通安全情報の発信に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①小学生に向けた交通安全教室 5回 ②警察等と連携した交通安全街頭啓発 2回 ③地域と連携した自転車マナーアップ啓発 2回 ④高齢者向け交通安全セミナー2回 ⑤広報誌、ホームページ、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信 6回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
区民アンケートにおいて、交通安全教室や街頭啓発、自転車マナーアップ啓発等の取組みが交通事故防止につながっていると感じると回答した交通安全大会参加者の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
2年度実績（12月末現在）					
<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した自転車マナーアップ啓発 15回 高齢者の事故防止や自転車マナーアップなどSNSを活用した啓発 2回 通学路安全点検 2回 					



1-3 安全で美しいまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞				戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題	
区民の環境美化意識が向上し、路上喫煙やポイ捨てごみの減少による美しいまち	<ul style="list-style-type: none"> 放置自転車や居酒屋などの違法な客引行為の防止のほか、「路上喫煙禁止地区」における喫煙マナーの向上に向け、市民協働による啓発活動を推進する。 区民等の環境美化意識の向上を図るため、広報誌やSNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信を行う。 							
	アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞				前年度	今年度	個別評価	全体評価
	区民アンケートにおいて、市民協働による啓発等の取り組みが区民や来街者の環境美化意識の向上につながっていると感じると回答した区民の割合 5年度までに85%以上							
							今後の対応方向	

具体的取組1-3-1 環境美化の推進

元決算額	139千円	2予算額	169千円	3予算額	2,878千円
取り組むこと					
地域、企業、商店会等と協働し、ボランティア清掃活動を推進するとともに、環境美化意識の向上を図るための啓発活動に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①町会・企業・学校園・商店会と協働し区内一斉清掃活動「都島クリーン作戦」 2回					
②毛馬桜之宮公園内での清掃活動「大川かたづけ隊」 月1回					
③京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会主体の啓発活動 月2回					
④ゆめまちロードOSAKA 1回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
ボランティア清掃等の活動が環境美化意識の向上につながると感じる区内一斉清掃活動参加者の割合60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
2年度実績（12月末現在）					
<ul style="list-style-type: none"> 京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会によるマナー啓発活動 9回 					

具体的取組1-3-2 路上喫煙禁止地区の啓発

元決算額	1,086千円	2予算額	1,838千円	3予算額	1,893千円
取り組むこと					
京橋地域の「路上喫煙禁止地区」の制度周知や、ポイ捨て防止など喫煙者マナーの向上を図るための啓発活動に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①市民協働型の路上喫煙禁止地区での啓発活動 6回					
②区役所内電子掲示板や区内の広報版等を活用し、路上喫煙禁止地区エリアマップ等の掲載 通年					
③喫煙者のマナー啓発ポスターを作成し、区内に掲示 1回					
④ホームページ、SNSなど様々な広報媒体を活用した情報発信 3回					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
京橋地域の「路上喫煙禁止地区」が区民・来街者に浸透したと感じる区内一斉清掃活動参加者の割合51%以上 【撤退・再構築基準】30%未満					
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間					
年度末					
前年度までの実績					
2年度実績（12月末現在）					
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働型の路上喫煙禁止の啓発活動 6回 区役所電子掲示板へエリアマップ等の掲載 通年 喫煙者のマナー啓発ポスターを作成し、路上喫煙禁止地区に掲示 1回 					

経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり



コミュニティ豊かなまちづくり

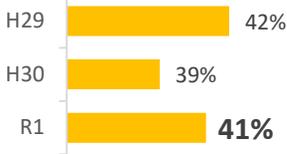
めざすべき将来像

最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしながら、若い世代やマンション住民など、より幅広く人と人がつながり、身近な地域の中で生活課題の解決に取り組むなど、地域コミュニティが活性している状態

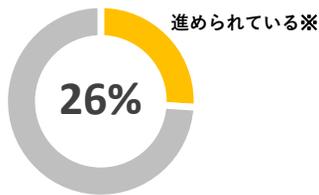
現状 <課題設定の根拠となる現状・データ>

お住まいの地域で日頃から近所どうして「助け合い」等が行われていると感じる区民の割合※



※元年度区民アンケートにおいて「感じる」「ある程度感じる」と回答した区民の割合

地域課題解決の取組が自律的に進められていると感じる区民の割合※



※元年度区民アンケートにおいて「そう思う」「ややそう思う」と回答した区民の割合

要因分析

<めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 個人の生活様式や価値観の多様化、新たな生活様式を求められるなど、人と人とのつながりの希薄化が進んでいる。
- 地域住民の参加が少ない地域や、地域特性に応じた取組が進んでいない地域がある。

課題 <上記要因を解消するために必要なこと>

- これまで地域と関わりが少なかった若い世代やマンション住民をはじめ、人と人がつながる機会の提供が必要である。
- 地域の实情に即したきめ細やかな支援などを行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営を推進することが必要である。

いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

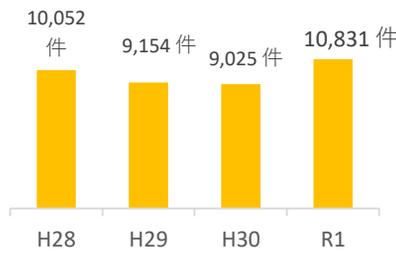
めざすべき将来像

最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

- 地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域住民がお互いに見守り活動を行うことにより、安心して生活できる状態
- 区民がいきいきと健康で生活することができる状態

現状 <課題設定の根拠となる現状・データ>

地域福祉コーディネーターによる相談・訪問等活動件数



要因分析

<めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 地域コミュニティの希薄化を背景に、福祉課題の「複雑化・多様化・深刻化」が進み、支援につながらず、地域で埋もれている要援護者に対する支援の必要性が大きくなってきている。さらに、感染症拡大下における要援護者への対応も求められている。
- 少子化が進み、出産・育児の手技等に関して相談できる者が周囲に少ない。

課題 <上記要因を解消するために必要なこと>

- 複雑化・多様化・深刻化する課題に対応するため、関係機関等と連携し、必要な支援をコーディネートする体制が必要である。

安心して子育てできるまちづくり

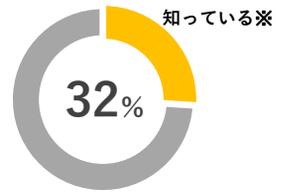
めざすべき将来像

最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

- 母乳・授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態
- 子育て世代の保護者が、身近なところから支援を受け、子育てを楽しんでいることができる状態

現状 <課題設定の根拠となる現状・データ>

「子育て支援室」を知っている区民の割合※



※元年度区民アンケートにおいて「知っている」「名前だけ知っている」と回答した区民の割合

保護者へのアンケート

子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人がいない



(子どもの生活に関する実態調査(28年度実施))

要因分析

<めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 子育てに不安を感じる保護者が、相談できる場所が分からず地域で孤立する傾向にある。また、感染症への対応やライフスタイルの変化によって、対面での相談がしづらいケースがある。

課題 <上記要因を解消するために必要なこと>

- 子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、子育ての負担感・不安感を軽減するため、地域の子育て情報を周知するとともに、虐待相談を含む相談窓口を拡充する必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括



2-1 コミュニティ豊かなまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞	戦略の 進捗状況	戦略のアウト カムに対する 有効性	課題														
<ul style="list-style-type: none"> 新たな生活様式を踏まえ、身近な地域で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感できる状態 防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその他地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態 	<ul style="list-style-type: none"> イベント開催などにより、これまで地域との関わりが少なかった若い世代やマンション住民も参加する、人と人がつながる機会を提供する。 地域活動協議会のめざすべき姿に向けて、地域の実情に即したきめ細やかな支援を行い、多くの住民が安心して参加できる自律的な地域運営を推進する。 																	
	アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞ <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前年度</th> <th>今年度</th> <th>個別評価</th> <th>全体評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区民アンケートにおいて、お住まいの地域で日頃からご近所どうしで「助け合い」等が行われていると感じると回答した区民の割合 5年度までに47%以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まちづくりアンケートにおいて、地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思うと回答した割合 5年度までに90%以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		前年度	今年度	個別評価	全体評価	区民アンケートにおいて、お住まいの地域で日頃からご近所どうしで「助け合い」等が行われていると感じると回答した区民の割合 5年度までに47%以上					まちづくりアンケートにおいて、地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思うと回答した割合 5年度までに90%以上						今後の対応方向
	前年度	今年度	個別評価	全体評価														
区民アンケートにおいて、お住まいの地域で日頃からご近所どうしで「助け合い」等が行われていると感じると回答した区民の割合 5年度までに47%以上																		
まちづくりアンケートにおいて、地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思うと回答した割合 5年度までに90%以上																		

具体的取組2-1-1 地域コミュニティの推進			
元決算額	8,083千円	2予算額	8,333千円
		3予算額	9,178千円
取り組むこと			
区民まつりを区民参画型で開催し、区民が企画、運営、広報などを主体的に行えるよう実行委員会を支援することで、人材育成、交流促進、コミュニティ育成につなげる。			
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)	
区民まつり 1回 9月 ・新規参画者拡大の促進 ・住民間交流の促進			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況	
地域とつながる機会となったと感じる参加者の割合 63%以上 【撤退・再構築基準】40%未満			
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策		
中間			
年度末			
前年度までの実績			
2年度実績（12月末現在） 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止（参考）元年度実績 区民まつり(9月) 参加者数約32,000人、参画者2,002人			

具体的取組2-1-2 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進（改革の柱4-1）			
元決算額	35,244千円	2予算額	40,677千円
		3予算額	40,712千円
取り組むこと			
地域活動協議会の活動を効果的に支援し、より多くの住民参加による自律的な地域運営の実現をめざす。			
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)	
①地域活動協議会補助金の交付による財政的支援 9地域 ②中間支援組織による活動の支援 通年 ・地域カルテ活用等、実情に即した活動の促進 ・地域活動に関わりの薄い住民の参加促進と第一層支援 ・多様な活動主体との連携協働の促進 ・組織運営の基本的事項の定着			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況	
地域活動協議会の構成団体が自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合 86%以上 【撤退・再構築基準】50%未満			
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策		
中間			
年度末			
前年度までの実績			
2年度実績（12月末現在） ・地域活動協議会補助金の交付 9地域 ・中間支援組織による活動の支援 地域課題やニーズに対応した活動の実施に向けた支援 多様な活動主体の連携・協働に向けた支援 会計事務や組織運営の適正化に向けた支援			